



NO.60

H4.6.1

-発行-

〒869-12

熊本県菊池郡

大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

TEL096

293-8100

親、自ら

理事長 田中 稔

5月10日に親の会結成20周年の記念を兼ねた総会を、県医師会館で開催しました。幸い天候にも恵まれて、行政、自閉症研究会の先生方等、お忙しい中、多数の方々にご出席頂きました。

20年前、「自閉症」という訳の分からない障害名を、わが子に付けられた親達11名が参加して親の会は発足しました。その頃自閉症は親の育て方が原因で、あるがまま、なすがまま受け入れれば、心の窓が開いて自閉症は治ると言われていました。その後、この20年間に脳の発育に障害があるという様に考え方が変わり、徐々に一般社会の中でも受け取られ方が変わってきました。それでも尚教育、医

療、福祉の関係者の中に、育て方が原因と言われる方が未だおられます。

この20年間の親の会の活動の大部分のエネルギーを、まず、正しく自閉症を理解して頂く事に使ってきました。何をやるにも、どんな場合でも、まず「自閉症」とは何かから話し始めなくてはなりませんでした。

親の会の総会の時、いつも司会をして頂く副会長の下出さんが、今回出席されませんでした。肥満と高血圧から心臓を悪くされ、手術される事になったからです。手術の前日、「総会の事よろしくお願います。」という電話をして来られました。何げない内容の電話でしたが、私には、「もし自分が一の事があれば、息子の事よ

ろしく願います。」という事を伝えられたかったのではないかと、いう様に思われました。下出さんには、この10年間全国協議会への出席、行政との接触、他の障害団体との懇談会等々、対外的な行動を殆ど一人でやって頂きました。この様な人がいて、自閉症への理解が広まり、間接的に多くの子供達はその恩恵を受けている訳です。親の会がやって来れたのもこういう人達の支えがあったからこそです。会費だけとって親の会は何もしてくれないと言う人は、自分がやるべき事を忘れていきます。自閉症への理解は広がってきていますが、早期療育をどうするか、義務教育卒業後の受け皿をどうするか等やらなくてはならない事は沢山あります。親、自らやらなくては誰がやってくれるのでしょうか。この事は既に施設に子供を入所させている親御さんも同じ事なのです。

療育シリーズ

母親のような気持

園長 土井尚典

カーナーが自閉症の診断基準の一つにあげたものに、自閉児の「同一性保持」がある。お父さんは朝出掛けるときにいつも帽子を被って、お父さんが被って出掛けなければ、必ず帽子を被って出掛けなくてはならない。お父さんが帰って来た時に玄関を開けてあげるのが毎日であれば、お父さんが先に玄関を開けて入れば、一度お父さんを玄関の外に出して玄関を閉め、それから自分が開けてあげ

る。このような事を言います。このような行動は2、3才の子には珍しくない行動です。学校に行くようになってからも、起きるとおかしな行動です。

この行動は自閉症の障害の一つですが、他の人との生活に大きな障碍となることが多くあります。例えば、三気の里でソファアを頂いた事があります。配達して来た

人が、たまたまソファアを壁に立て掛けました。その後ソファアはズーッと壁に立て掛けられたままでした。どんなにソファアを使い易い位置においても、気が付くとソファアは壁に斜めに立て掛けられていました。ある園生がソファアは壁に、しかも壁の同じ場所に立て掛けるものだと思ってしまった訳です。

この障害をよく知らない、自閉症児に悲しい処遇をすることがあります。ある研究会で発表されたケースに、午後5時になると先生を職員室から追い出そうとする生徒がいたそうです。生徒にとつて、5時に先生は帰るべき人なのです。その先生は、5時になってもまだ仕事があるときは大変困ったそうです。そこで一計を練って、その生徒の持物を窓から捨てたそうです。すると持物があるべき所になければならないので急いで、拾い行き元あった所に戻すそうです。そうやって効果があつたそう

です。特にその生徒の布団が効いた、という報告でした。

「生徒がかわいそう。先生は生徒がどんなに悲しいかわからないのかな。」と指導員が言いました。私は「どういう気持ちで発表したのだろう。」と言いました。指導員は「汚れた布団に寝る気持ちを考えた事があるのだろうか。」と言いました。私は「発表する神経がわからない。」と言いました。

私は自分が、職員のあるべき姿に反応しているのに気が付きました。この指導員のように母親のような気持ちも大切だ、と再認識させられました。



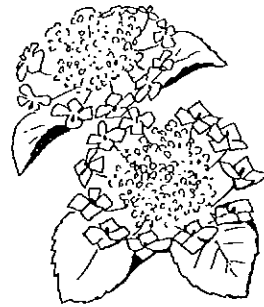
入園に際して

佐藤 由美

定員いっぱいに入所は無理という事で、高等部卒業後は在宅で何か考えなくてはと思案している所へ「入所の希望はありますか？」という連絡が入り、三気の里と龍也との縁があったと喜んだあの日から、一カ月以上も過ぎてしまいました。夏季療育キャンプに参加して、三気の里と聞くだけで「ダメ。」通っただけで「おうち帰ろう。」と、言っていた龍也も土曜には帰宅出来る事を理解し、もう何年か居る人のように過ごしている様で、余りに全ての事が順調に成り立って来ている事に、ただ感謝していません。入園に際して色々考えたり、心配したりしましたが、のん気、根気、元気、の三気の意味を良く理解し、私達家族の龍也に対する気持ちを持続していく事が一番だと思います。

自閉症の療育を目指されている理事長、指導員の先生方に感謝し、

又、子供達の住み易い場所作りに親として、精一杯協力と努力をし続けたいと思います。



我が家の

ゴールデンウィーク

「思い出の旅。」

島津 宏子

今年家族で行く所は鳥取の砂丘に決め、三日の朝七時前に出掛けました。文彦の兄の車だったので行かないと言って家の中へ戻りましたが、私が「早く乗らんね。」と言うとなにやら文句を言って乗りました。文彦は高速が嫌いですがで機嫌を悪くし砂丘に着くまでギアアギアア言っていました。車か

ら降りると砂丘を歓声をあげ手をぶらぶらしながら喜んで走り出しました。周りにいた人がびっくりして「あれ何だ？」と言われたり、初めて見たと驚かれました。帰りに出雲大社に参り文彦も50円入れ主人の方を見て拝むので、「神様の方を見て拝みなさい。」と言うと手を合わせお辞儀をしました。機嫌が悪い時があるので、なかなか難しいです。旅行も楽しんで楽しい事ばかりではありませんが文彦が喜んでくれれば私達も幸せです。



3 班

W O O D Y L I F E

木々の緑が美しく、風がこちよい日が続いていますね。

先日、事務長と砂野さんが作業棟前のせんだんの木を切って下さいました。大きな大きな木をチェーンソーで切り、その切り落とされた木を3班のみんなは、のこぎりで地道に枝落としをしてくれました。誠ちゃんの、のこぎりさばきは見事で大きな木を“あっ”という間に切ってしまいます。誠ちゃんが切った木を順ちゃんと一章くんが、もっている力を全部出して運んでくれます。大きな木と枝と葉に分けて置き、わずか4時間程で作業棟前をスッキリと、きれいに片付けてしまいました。日ごろ、木に触れる生活をしているみんなの得意とする仕事です。さて、次はせんだんの木から何ができるかな？楽しみだなあー。

今村

4 班 愛情野菜

園の周りでは、麦刈りが盛んに行われています。そんな中、4班では冬場に植えていた野菜の収穫も済み、予想外の出来で（色々な方々に買って頂き有り難うございました）これに気を良くしたのは言うまでもなく職員、「今度は、何を作ろうか？」と野菜作りに燃えている私達です！現在、畑にはトウモロコシ、大根、里芋、トマト、ナス、さつま芋がすくすく育っています。みんなはこの野菜が早く大きくなるようにと、体中びしょりになりながらも水まきしたり、1本ずつ根元に肥料をまいたり、苗の周りの草を取ったりと毎日せっせと世話をしてくれています。やっぱり、こうやってみんなの愛情が伝わるのでしょう。一寸の間にグ〜ンと成長しています。（思わずニッコリ…） 緑一杯の中、ますます頑張る4班のみんなです。

山中

外作業班

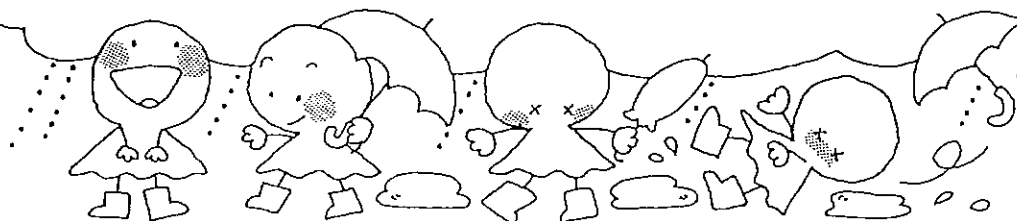
薫 風

「風光る」と俳句の季語にあります。渡る風にもこれから何かが起こりそうな予感や、生命の息吹が感じられるようになって来た今日このごろ。外作業班も、実習中だった佐々木君が正式メンバーに加わり、総勢8名のグループとして2年めがスタートしました。作業もこれまでと違い、洗車等を行う「おまかせグループ」、苗作りや花作りを行う「おまかせ園芸グループ」、まずは基礎作りと畑に挑む「農耕グループ」など、いくつかのグループに別れて働く事が多くなって来ました。もちろん運動会の準備など、行事前は大車輪の活躍をすることは言うまでもありません。

このようにほんの少しずつですが、外作業班にも微風程度の風が吹き始めました。今はともかく、いずれ五月の青空を渡るさわやかな風になれるよう、光る風を目指してがんばろうね！

東

班 ニュース



1 班 チャレンジ川下り

ある五月晴れの日、新緑もえる柳川へ川下りに行きました。船頭さんの観光案内を聞きながら皆整然と並んで座っていました。船縁から手を出して水遊びをしていた聡ちゃん、雄ちゃん。船頭さんの案内に返事をしていた忠ちゃん。船が揺れて緊張したのか石のように動かなかった勝ちゃん。情緒を楽しみながら進むその前に橋！川面との間は50cm程、「寝ないと頭を打つよ。」と船頭さん。「頭下げて!」、「寝て!」と職員は大騒ぎ。寝転び、はしゃいでいたのは久美ちゃん、路ちゃん、寝ずに前屈で苦しんだ博君、そんなことよりあちこちから流れてくるかば焼きのニオイに早く食べたいと騒ぐ憲ちゃん、最後は降りる時に怖いと泣きまねの宣陽さん、観光客の人達に応援され無事降りる事ができ拍手喝さい。慣れてきたころに30分コース終了だったので、60分コースにしておけばと後悔。職員の心配を他所に皆の笑顔。また新しい事にチャレンジしよう!!

田辺

2 班 もってこいの作業

新緑の季節となり、2班では野や山に行って野イチゴ狩りをし、それでジャムを作っています。野イチゴは、種を蒔いたり、苗を作ったりしなくても自分で大きく、おいしく育ってくれますので、2班にはもってこいの植物です。園の周辺や、空港の近くに、大きな赤い実が沢山なっていて、袋にどんどん入れるのは専ら職員で、泰ちゃんはけっこう袋に入れてくれますが、英輔君は口の中に入れる方が多くて、他の皆んなは、ひたすら口に入れるのみです。

こんな2班の皆んなですが、山登りがどんどん上手になってきて、ニコニコして山に登れるようになりました。野イチゴはジャムになってお金になるし、本当に2班にはもってこいの作業です。

高橋

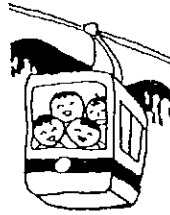
二三人の里の

ゴールドデンウィーク

清田美加

5月1日、阿蘇で一番高いと言われる高岳へ。いつもは用意播但で待っている浩ちゃん（本当は山よりお弁当？）今日はなかなか出発の準備をしようとしな。山へ行きたくないらしい。英くん、建ちゃんはお出かけ！とうれしそう。この後何が待っているか知らないなと薄笑いを浮かべる坂井、坂本。体力に自信のない清田は“行きたくない”と膨れっ面。足場がかなり悪く、おまけに前日の雨で灰がどろどろしている。走って登りそうな身軽な浩ちゃん。スリムになった英くん、見違えるほどの足取りの軽さ。体力に自信ありの建ちゃん、余裕で景色を眺めあまりの高さに驚き足が竦んでしまったようだ。頂上は思わぬ寒さ、沸かして飲んだコーヒーのおいしかっ

たこと。途中女子高生の集団に出会った。怖くて立ち往生している。若い女性を目の前に、鼻の下を伸ばしニタニタ笑っていた浩ちゃん。みんな硫黄の匂いが立ち込める中岳を見ながら下山、久木野の温泉につきり1日の疲れを落とし園へ戻ってきた。



食卓営業中

最近、どこからともなく厨房に姿を現す龍也君（四月に入所）が話題となっています。カウンターや裏口から突然訪れては、パートの方々に、度々「帽子だめ！帽子だめ！」と言っては喜んでいます。こちらから話しかけても、龍也君はパートの方々の話に夢中ですが、この会話で驚かされる事がありません。例えば、調理台の上に並べられているミンチや玉葱を見て「ハンバーグ」、大根や天ぷらがあると「おでん」と材料によって自分で理解しています。家庭では、お母さんと料理を楽しんでいるのでしょうか。いつも笑顔の彼から温かい家庭が窺えます。龍也君に限らず、他の園生にとって厨房が温かい安らぎの場になると良いですね。



前田

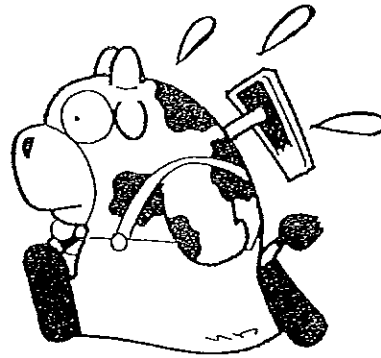
ぼらんていあ通信

私と瓜二つと言われる妹が（本人達は、お互い似ていないと言い張っています。…）ボランティアに来たのですが、前日は、少々不安そうにしていました。（どう、接したら良いか等）しかし、ボランティアをした、その夜は、園生達の素直さにほだされたのでしよう「楽しかった！」と嬉しそうに話していました。やっぱり、一緒に接してみないと皆んなの良さも分からないですよ。ボランティアに来てみたいの不安に思っているあなた！一度、遊びに来ませんか？色々な行事に参加しても良いし、皆んなと一緒に汗だくになって作業しても良いし、きっと帰るには仲良くなれるでしょう。



☆ボランティアありがとう☆
森藤雅子（3班作業）

熊本天使園の皆さん（運動場整備）
熊本歯科衛生士専門学院の皆さん
（歯科検診）



ちょっと気になる

栄養養の話題

女性に限らず、誰しも太ることに對してはとかく気になるものですね。体重が減った増えたで一喜一憂している人、食生活を一寸見直してみましよう。どこかに気のゆるみと落とし穴があるはずですよ。見直しをしましょう。

栄養についても考えてみましょう。「栄養のバランスを考えて！」とは言うけれど、仲々できないものですね。そこで、一日30食品を摂る事を心がけましよう。同じ食品は何回食べても一品目として数えます。ただし、魚と肉で30食品という「…ぱっかり食」はダメですよ！ある程度、基礎的な食品類を考えて摂りましよう。それから、主菜が揚げ物や炒め物などの

油料理の時、副菜は和え物やお浸し、煮物など料理の組み合わせも考えましよう。又、間食は手作りにするのが一番です。ただし、自分で苦労して作らなければ意味がありませんよ。

田辺ゆ

たいまぎかしら...



6月の行事予定

1(月)	17(水)
2(火)	18(木) 1班レク
3(水)	19(金)
4(木) 2班レク	20(土) シーツ交換・療育相談日
5(金)	21(日)
6(土) シーツ交換・療育相談日	22(月)
7(日)	23(火)
8(月)	24(水)
9(火)	25(木) 3班レク
10(水)	26(金) 大掃除
11(木) 4班レク(中)・誕生会	27(土) 帰宅バス運行
12(金) 4班レク(外)	28(日)
13(土) 帰宅日・父兄会	29(月)
14(日)	30(火)
15(月) 防災訓練	31(水)
16(火)	



後援会入会

ありがとうございます

藤本絵璃
松本三千昭
岩本商二
加賀篤憲
池永ユキエ
坂口峻一
緒方義則
規工川元徳
東田昌子
小串夏代
木山程荘
渡辺正司
兼坂一子
興呂木信夫
門岡蓉子

中村涼子
城門千代
坂本シマ子
坂井琢二
一門恵子
山口裕視子
大橋孝良
島津真一
前田修誠
尾崎元昭
本田和弘
牛嶋妃佐美
興呂木正人
谷岡文枝

五月二十八日付け

※敬称略

編集後記

2ヶ月ぶりにワープロをうつつ手が震えました。
東